

学んで話して楽しいにほんご教室

# 夢気球だより

「夢気球だより」編集部 発行

T610-0121

城陽市寺田西ノ口7-4西邦ビル2階 城陽市国際交流協会内

電話 0774-57-0713

ご意見・投稿先 nicyama0323@gaia.eonet.ne.jp <西山雅文>



## 「夢気球」二周年記念

9月29日(日)開催!!

# 学習者・支援者交流会



学習者19名 学習者の友達他10名 支援者25名 総勢54名

## 54名が集う

9月29日(日)、城陽市国際交流協会で学習者・支援者交流会が54名の参加者で盛大に開かれました。この交流会は夢気球が発足して2周年になり、その記念として学習者と支援者として家族・友人らが一堂に会して交流を図るもので、野外を含んだ多様な企画があったものの今年度も協会で開催しました。

最初、気分を和らげるために「部屋の4隅」というゲームを村田さんの声掛けで始めました。「納豆は好きですか?」との間に、4隅にある答えの方に移動。「ウオシユレットは?」「日本語教室は?」「カラオケは?」教室で自分の返事の答えに応じて各自がウロ

ウロ、ガヤガヤの移動。カラオケに人気があることがわかりました。さて、気分がほぐれたところで学習者の日本語での自己紹介。各人が先生の紹介を含んでの話で、それぞれが精いっぱい紹介しました。それぞれの精一杯の紹介に暖かい拍手が起りました。

今回は日本の文化に親しむということで、協会の大久保さんの筑前琵琶の演奏があり、短時間で目まぐるしく初めて聞く琵琶の音色に全員が耳を傾けていました。その後、それぞれが立ち歩いて、食べながら飲みながらワイワイガヤガヤのフリーな交

流です。結構にぎやかな交流あり触れ合いあつた。この感想は、初めての来た人の談。「もっとお別れの前に村上山さんの名指揮で「幸せな手をたたこう」の合唱。歌詞一字一字を追いつつ楽しく交流できた半日でした。

最後、全員集合して

広報 渋谷陽

国際交流協会大久保さん、琵琶の演奏「祇園精舎の鐘の声」



先生、こんばんは。いつもお世話になっております。写真をバチリ。あつという間の半日でした。「こんなに多くの外国の人が教室に学びに来ているとは知らなかった」との感想は、初めての来た人の談。「もっとお別れの前に村上山さんの名指揮で「幸せな手をたたこう」の合唱。歌詞一字一字を追いつつ楽しく交流できた半日でした。

昨日お疲れ様でした。交流会を誘ってくださった。有難うございました。たくさん日本語を使えて、皆さんと一緒に楽しい時間を過ごして、いい思い出になりました。とても嬉しかったです。昨日は用事があつたので、遅くなりましたがメールが出来なくてすみませんでした。ちよんより、

自己紹介で少し緊張のチヨンさん



自己紹介で少し緊張のチヨンさん

ベトナム実習生のフィン・キム・チョンさんから交流会の翌日にお礼のメールをいただきました。本人了承の上、見出しにその件名を使用し、原文のまま掲載いたしました。編集部 西山雅文

## お知らせ

是非、お気軽に、参加してください。

### ●第9回支援者交流会 (おしゃべりの集い)

- 日時: 2013年11月17日(日) 13:30~15:30
- 場所: ぱれっとJOYO
- テーマ: 教え方のワンポイント
- 対象: 「夢気球」会員

### ●第8回国際サロン

- 日時: 2013年12月1日(日) 10:00~12:00
- 場所: ぱれっとJOYO
- テーマ: トルコ・遠くて近い国
- 対象: 城陽市市民、「夢気球」会員等

## 教室通信

### 「夢気球」日本語教室の魅力

「夢気球」が発足して2年になりました。以前からの日本語教室も含めて、33教室で33名の学習者と27名のボランティアが日本語学習と交流を繰り返しています。(10月20日現在)「夢気球」の日本語教室の特色は、少人数・学習者のニーズ重視・家庭的な雰囲気・多様性です。ボランティアは教材や授業の進め方で苦労もありませんが、日本語を勉強する学習者の熱意に支えられています。各教室の写真から日本語学習の熱い声が聞こえてくる気がしませんか。庶務コーディネーター担当 片岡敬愛



※写真撮影には、JIEAの職員の方々に協力をいただきました。なお、休講中や新しい教室は逐次紹介致します。編集部 西山雅文